

資料4-2 情報の可視化 個票

市町村名  ゼロカーボン関連データ

<本資料の趣旨> 本資料は環境省等が公表しているデータを取りまとめた自治体ごとに表記したものです。数値は国や都道府県の数値に関連する統計値を用いて按分し、推計しているものもあります。あくまで参考値としてご利用いただくものです。

◆最新 2018年度 の温室効果ガス排出量の状況 ※1 (千tCO2)

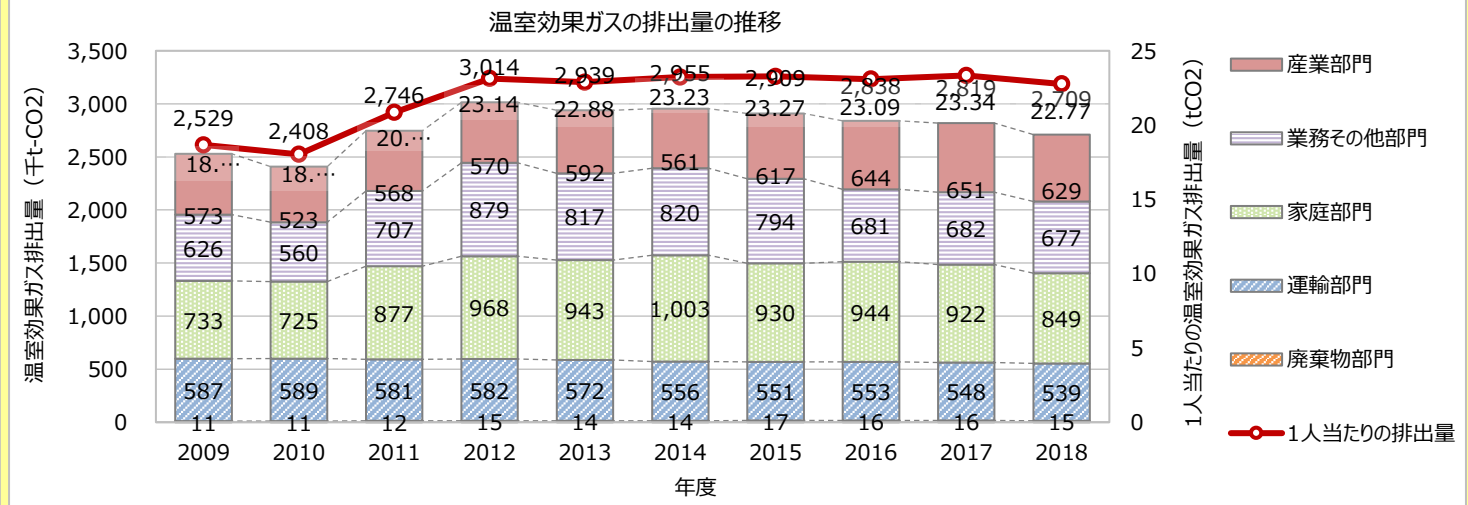
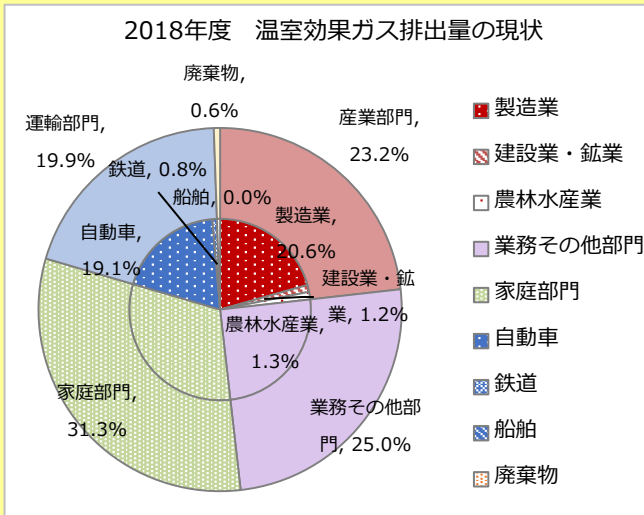
産業部門			業務その他部門	家庭部門	運輸部門				一般廃棄物	2018年度排出量合計		
製造業	建設・鉱業	農林水産業			旅客自動車	貨物自動車	鉄道	船舶				
559	34	37	629	677	849	318	200	22	0	539	15	2,709

◆温室効果ガス排出量の推移 ※1 (千tCO2)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総排出量	2,529	2,408	2,746	3,014	2,939	2,955	2,909	2,838	2,819	2,709		

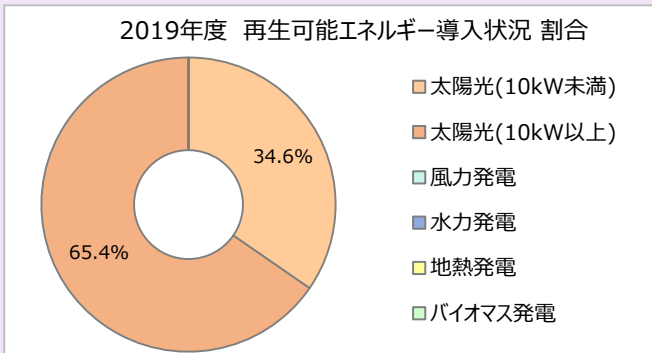
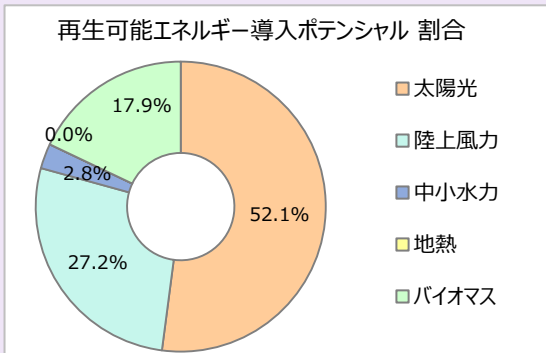
	2030年度 ※2		2050年 ※2	
	2013年度比削減率	排出量	2013年度比削減率	排出量目標
目標排出量		2,939		2,939

<出典・注釈>  
 ※1 出典：環境省【データ部門別CO2排出量の現況推計】  
 ※2 2030年度・2050年における2013年度比削減率を任意で入力することで、当該年度の目標排出量が算出される。



◆再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入状況

再生可能エネルギー導入ポテンシャル (MWh/年) ※3						2019年度 再生可能エネルギー導入状況 発電電力量 (MWh/年) ※4						
太陽光	陸上風力	中小水力	地熱	バイオマス	合計	太陽光 (10kW未満)	太陽光 (10kW以上)	風力	水力	地熱	バイオマス	合計
601,004	313,978	32,131	22	206,983	1,154,118	6,650	12,560	0	0	0	0	19,210



<出典・注釈>  
 ※3 再生可能エネルギー導入ポテンシャルとはエネルギーの採取・利用に関する種々の制約要因による設置の可否を考慮したエネルギー資源量で、以下の条件は考慮されていない。  
 出典：<太陽光、陸上風力、中小水力、地熱> 環境省 再生可能エネルギー情報提供システム (REPOS)  
 <バイオマス> 北海道立総合研究機構「地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型モデルの構築」

●考慮されていない条件  
 事業の採算性、系統の空き容量、賦課金による国民負担、将来見通し (再エネコスト、技術革新)、個別の地域事情 (地権者意思、公表不可な希少種生息エリア情報) 等

※4 発電電力量は、FIT制度で認定された設備のうち、買取開始した設備の導入容量のみを対象に、調達価格等算定委員会「調達価格等に関する意見」の設備利用率を用いて推計している。  
 出典：環境省 自治体排出量カルテ 再生可能エネルギー (発電電力量)